

# 次代を担う若人

編集責任者

校長 榎藤 博文

## 第13回ポレポレ祭り開催される!!!

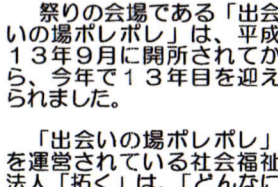


10月26日(日曜日)に「出会いの場ポレポレ」を会場として、第13回ポレポレ祭りが開催されました。今年も久留米市のイメージキャラクター(ゆるキャラ)「くるっば」が祭りにかけつけていました。



本校からは、放送部の人たちが司会進行役でがんばってくれました。吹奏楽部は、大善寺玉垂宮放生会、安武まつり、市内音楽会に続いてのステージで演奏を披露してくれました。とても立派な演奏でした。

当日の演奏曲目は、「RPG」「小さな恋のうた」「イチブトゼンブ」の3曲でした。



障害が重くても地域で暮らし続けることを目的として、「居宅介護事業」や地域に密着した「ケアホーム事業」、さらに「就労継続支援でのクッキーやパン、惣菜の製造・販売など、障害者が住み慣れた」地域で、自立した生活を送るための積極的な支援を展開されてきています。



【久留米市市長とポレポレ祭り】

今回の「第13回ポレポレ祭り」のパンフレットの中で、久留米市の榎原市長は、「ポレポレ祭りの特徴は、地域の皆様、模擬店やイベント等に主体的に参加され、障害者の方々と楽しみを共有しながら運営されていることにあります。毎回ボランティアの皆様をはじめ、多くの方が参加されており、しっかり地域に定着し、着実に祭りの輪が大きくなっていくことを共に喜びたいと思います。」と述べられています。

また、挨拶の最後には、「久留米市では、市民の皆様との協働により障害者が地域の中で安心して暮らせるまちづくりを進めるとともに、安全安心のまちづくりである『セーフコミュニティ』の取組を通して、交通安全をはじめ、防犯や防災対策など、障害がある方を含めた全ての市民の皆様が『安全に安心して暮らせるまちづくり』を積極的に進めてまいりたいと考えております。」と締めくくられています。

今回の第13回ポレポレ祭りのテーマは、「だっでん(誰でも)まさりあおう! Part2」です。祭りに集うことで、たくさんの人と語り、つながり合えると思います。

筑邦西中学校の生徒会のスローガンは、「筑西家族とともに学び、一人ひとりが尊重され、みんなが輝くセカンド・ホーム」、そして、学校の教育目標は、「自他を大切に、夢と目標の達成に邁進する生徒『学び合い』『高め合い』『支え合い』」です。



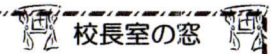
全校生徒が本当の家族のように信頼し合える学校、一人一人がまわりの人の気持ちを考えて行動し、安全に、安心して過ごせる学校を目指しています。

子どもたちの小さなサインを見逃さず、「いじめ」は、【『筑西会』の模擬店(出店)】絶対に、「しない」「させない」「許さない」学校にしたいと考えています。

子どもたちが住む地域においても、一人一人の人権が大切にされ、思いやりの気持ちでいっぱいであたたかい地域に、さらに成長していければと思います。



大変興味深い内容ですので、再度紹介します。



校長室の窓

### ● なぜか読めるんです?

じばんゅん は めくちちゃでも  
ちんちゃとよめる という けゅきんうに  
もづいとて わざと もじの じんばゅんを  
いかれえて あまりす。  
どうす? ちんちゃとよちめう でしょ?

ケンブリッジ大学の研究によれば、人間の目は、単語の最初と最後の文字さえ正しければ、どんなデタラメな文章でも読むことができるらしいです。この説を証明するのが上の枠内の文章です。どの言葉もめっちゃくちゃですが、なぜかスラスラと読めてしまうのです。

(引用文献:「あなたも絶対ダメされるトリックアート大百科」 編集担当: 鈴木祐一郎 発行所: 株式会社 鉄人社)